

保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム 開催要綱

1. 趣旨

厚生労働省では、平成 29 年 6 月に「保健医療分野における AI 活用推進懇談会」報告書を取りまとめ、①我が国における医療技術の強みの発揮、及び、②我が国の保健医療分野の課題の解決、の両面から、AI 開発を進めるべき重点 6 領域を選定した。

しかしながら、諸外国における AI 開発は急速に進んでおり、本邦においても、諸外国に遅れを取ることなく、産学官が一丸となって取り組めるよう、課題や対応策について早急に検討する必要性が生じている。

このような状況に鑑み、今般、有識者を参集し、AI 開発及び利活用促進に向けて幅広い視点から議論を行い、本邦にて取り組むべき事項を検討する。

2. 検討事項

保健医療分野における AI 開発及び利活用を加速させるための課題や対応策及び本邦における今後の研究開発の方向性。

3. 運営

- (1) コンソーシアムは、危機管理・医務技術総括審議官が有識者の参集を求めて開催する。
- (2) コンソーシアムには座長及び副座長を置く。座長は、コンソーシアムを代表し、会議を統括する。座長が会議に出席出来ない場合は、副座長が会議を統括する。
- (3) コンソーシアムの庶務は、大臣官房厚生科学課において行う。
- (4) 会議は原則として公開するとともに、議事録を作成し公開する。ただし、議事内容により非公開とする必要があると座長が認めた場合は、開催予定とともに非公開である旨及びその理由を公開するものとする。
- (5) この要綱に定めるもののほか、会議の開催に必要な事項は、座長がコンソーシアムの構成員の了承を得て定める。

保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム 構成員

- 田辺 里美 独立行政法人情報処理推進機構 主任研究員
- 辻井 潤一 国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー・人工知能研究センター・研究センター長
- 角山 和久 日本製薬工業協会研究開発委員会創薬研究部会部会委員
- 豊田 郁子 患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋 理事長
- 中村 祐輔 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長
- 新岡 宏彦 大阪大学 データビリティフロンティア機構特任准教授
- 羽鳥 裕 公益社団法人日本医師会 常任理事
- 保科 学世 アクセンチュア株式会社 AI センター長
- 松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 教授
- 間野 博行 国立研究開発法人国立がん研究センター 理事・研究所長・がんゲノム情報管理センター長
- 三島 良直 国立研究開発法人日本医療研究開発機構・理事長
- 宮田 裕章 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室・教授
- ◎ 村山 雄一 東京慈恵医科大学脳神経外科学講座主任教授
- 山内 英子 聖路加国際病院 副院長
- 山本 晴子 医薬品医療機器総合機構・理事長特任補佐〈医学総括担当〉
- 渡部 眞也 一般社団法人日本医療機器産業連合会 副会長

(敬称略、50 音順、◎は座長、○は副座長)